

長谷山だより

平成30年1月17日発行
 碓井中学校通信1月号
 文責 校長 古賀 修治

いよいよ入試が始まります！

新年、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。先週は、今冬一番の大寒波が訪れ、北陸等の日本海側地方は大雪の週末でした。福岡県も大雪にはならなかったものの、積雪もあり厳しい寒さになりました。そのため、13日に予定されていた「嘉麻・嘉徳・飯塚地区中学校新人駅伝競走大会」は20日（土）に延期となりました。

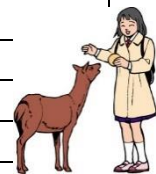
3年生全員が受験モードに入ったようで、朝早く来たり、放課後残ったりして、勉強している生徒が増えてきました。来週は、いよいよ私立入試が始まります。

さて、始業式では、先週大きな話題になった成人式の着付け問題でのボランティアの人の動きと広がりを取り上げ、みんなをたくさんの方が見守っており、本当に困った時に助けてくれる人がいる。だから、自分の夢の実現に向かって、一所懸命に頑張っていくことが大切だと話しました。これは、3年生に限らず、1・2年生にも言えることです。勉強だけでなく部活動や本当にやりたいこと、成し遂げたいこと、楽しみたいこと等に一所懸命頑張ることが大切なのです。そして、その姿を見た人は、感動し、応援したくなります。

さて、今週になって、発熱等のインフルエンザ様疾患による欠席や早退者が増えています。しっかりした睡眠による休養とうがい、手洗いを必ず励行してください。また、できるだけ人込みを避けることも大切です。

1月・2月の主な行事予定

日・曜	行 事	日・曜	行 事
1月 9日（火）	始業式	7日（水）	チャレンジタイム③ 推薦入試②
17日（水）	避難訓練⑥	8日（木）	チャレンジタイム④
19日（金）	2年修学旅行説明会 19:00	9日（金）	チャレンジタイム⑤
20日（土）	嘉飯新人駅伝大会	11日（日）	建国記念の日
23日（火）	私立高校専願推薦入試	12日（月）	振替休日
29日（月）	飯塚高校一般入試	13日（火）	期末考査 定時退校日
31日（水）	近大附属福岡高校一般入試	14日（水）	期末考査 定時退校日
	新1年生入学説明会	15日（木）	期末考査
2月 2日（金）	生徒会専門委員会	19日（月）	フォローアップタイム（～23日）
	福岡地区一般入試	21日～23日	2年生修学旅行
5日（月）	チャレンジタイム①	3月 7・8日	公立高校一般入試
6日（火）	チャレンジタイム② 部活動停止	9日（金）	第71回卒業式
	公立高校推薦入試①	23日（金）	修了式



生徒会始動、目標「あいさつ ○○ー！」

2学期の終業式後、生徒会交代式が行われ、平成30年度の生徒会がスタートしました。碓井中学校の伝統を更に発展させると誓った新しい生徒会執行部は、以下の通りです。

【会 長】	個人情報保護	(2年1組)	個人情報保護	(1年1組)
【副会長】	の観点から、	(2年2組)	の観点から、	(1年2組)
【書 記】	個人名は伏せ	(2年1組)	個人名は伏せ	(2年2組)
【学 習】	ています。	(2年2組)	【生 活】	(2年1組)
【清掃美化】		(2年1組)	【人 権】	(2年1組)
【体 育】		(2年1組)	【健康保健】	(2年1組)



そして、冬休み中の生徒会研修を受け、生徒会がいよいよ動き始めました。始業式後の生徒会集会では、生徒会役員としての抱負を各自が発表しました。また、立会演説会では、会長の森田君をはじめ、多くの候補者が「あいさつ一番」を公約にしていました。学校内ではもちろん、家庭、地域においても、一步上の明るく元気な挨拶が当たり前になるとよいと思います。

今年の生徒会スローガンは、「勇往邁進」です。大相撲の大関に昇進した時の口上にも使われた言葉で、「恐れることなく、自分の目的・目標に向かって、ひたすら前進すること」という意味です。生徒会長を中心に生徒会一丸となり、生徒全員で碓井中学校を大きく前進させてほしいと思います。期待しています。

スクールペーパーの「Be proactive」は「積極的に」という意味で、「proactive」は「先を見越した。先のことを考えて、事前に行動を起こす。」の意味です。生徒一人一人、そして、碓井中学校のどんな先を見越し、そのためにどんな行動を起こしたらいいのかを、みんなで考えていけたらよいと思います。

言葉の力を上手に使おう！

日本に限らず他の国々でも、言葉には不思議な力があるとされています。日本では、「言霊（ことだま）」「言魂（ことたま）」とも言われ、声に出した言葉が、現実の事象に対して何らかの影響を与えると信じられ、良い言葉を発すると良いことが起こり、不吉な言葉を発すると凶事が起こるとされてきました。また、日本は、「言魂の力によって幸せがもたらされる国」とされていたようです。

最近、子どもたちの言葉の力のなさが、いろいろな場面で話題になっています。例えば、自分のいやな気持ちを、「ムカつく」「うざい」という一言で片づける場面が多くみられます。それは、言葉の不足によるものとも言われます。

日本語と英語等の外国の言葉との違いは、日本語には、同じような意味を表す言葉がたくさんあるということです。例えば、「熱い」と「暖かい」は、似たような言葉ですが、少し違います。「○○℃」でも少し違います。色で言うと「赤」と「オレンジ」でしょうか。他の色を浮かべる人もいます。このように、同じような言葉でも、人により、場面により、違っているので、自分で会う言葉を選ぶことができるのが日本語の良さです。

さて、この時期の3年生にとっての「美しい所作」、それは、一所懸命頑張ることなのですが、これから、または今の自分の姿を現す言葉を考えてみてください。

「必死」「無心」「頑張る」「我武者羅」「一心不乱」「死ぬ気でやる」「無我夢中」等、まだまだたくさんあると思います。自分に合う言葉を探して、気持ちを高め続け、4月以降の自分が理想とする姿をイメージしながら、一日一日を大切にしたいと思います。

